

# 平成 26 年度 予算施策評価表

様式 1

施策名	文化に親しむ環境・機会づくり			予算施策コード	ky11	
担当部局名	教育委員会 管理部	文化財保護課	評価責任者	課長 藤田 享	連絡先	4917

## 1 施策の内容

施策の目標	優れた芸術に触れる機会や様々な文化活動を体験する機会を充実することにより、県民の文化・芸術活動への意欲を高めるとともに、新しい愛媛文化の創造を担う人材の育成をめざす。
これまでの取組み	<p>県美術館を文化活動の拠点として、県民に親しまれ利用しやすく開かれた施設となるよう環境整備を進めるとともに、子どもたちの豊かな情操をかん養する機会の拡充に取り組んできた。</p> <p>1 美術館を拠点とした質の高い文化・芸術に親しむ機会の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マスコミ等との実行委員会方式による年間5回程度の企画展の実施</li> <li>・愛媛ゆかりの作家など計画的な作品収集と、新鮮味のある所蔵品展の開催</li> <li>・学校との連携、対話型鑑賞の支援、情報発信の強化などによる多様な学習機会の提供</li> </ul> <p>2 子どもたちの豊かな情操を養う教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歌いっごう日本の歌開催事業、合唱や吹奏楽コンクールの実施、全国高等学校総合文化祭への派遣等</li> </ul>

成果指標名(目標の達成度合いを示す指標)					
A	美術館年間利用者数	B			
選択理由	文化に親しむ環境や機会の提供という施策の成果をみる指標としては、事業の拠点施設となる美術館の年間利用者数が最も適切である。	選択理由			
算定方法	利用者数の積み上げ	算定方法			
成果と指標の関係	強	指標の種類	フロー	成果と指標の関係	指標の種類

指標・事業費の推移										
区分	成果指標A			成果指標B			事業費			
	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	予算	国費	その他	県費
単位	千人		%			%	千円			
24年度	333	279	83.8%				227,205	0	106,238	120,967
25年度	350	311	88.9%				234,493	0	130,874	103,619
26年度	350	335	95.7%				234,119	1,552	119,630	112,937
27年度 目標値	350									
最終目標	350									

## 2 施策の評価

県の関与の必要性	高い	説明	文化芸術振興基本法第4条では、地方公共団体の責務として「文化芸術の振興に関し、国との連携を図りつつ、自主的かつ主体的にその地域の特性に応じた施策を策定し、及び実施する責務を有する。」と規定しており、県民を対象とした、文化に親しむ環境や機会の創出に関する事業は、県が関与する必要性が高い。						
成果指標A	順調・向上	説明	美術館では、これまでの計画を総括した新たな中期運営計画(平成26年度から5年間)を策定し、入館者の増加に向け、各種事業の充実に取り組んでいるところである。今後も魅力ある企画展や所蔵品展等を開催することにより、年間利用者数の増加を図ることは可能である。						
成果向上余地	ある程度向上可能								
成果指標B		説明							
成果動向									
成果向上余地									
参考：構成事務事業の評価の平均値	成果動向	2.21	順調・向上	成果向上余地	1.29	ある程度の向上が可能			

今後予測される環境変化	<p>少子高齢化が進行する中で、増加する中高年世代の人々が、自己実現を図り、心豊かで健康的な生活を送るため、「文化に親しむ環境や機会づくり」が一層求められるものと考えられる。</p> <p>また、子どもにとっても、豊かな人間性や創造力を育むうえで文化の果たすべき役割は大きいため、優れた芸術文化に接する機会提供の必要性は高まるものと思われる。</p>
-------------	---

